

～四命～

大植 祥弘

川崎医大呼吸器OBであり、義兄である矢木晋先生の勧めで岡先生とのご縁を頂き、この岡山に来てもう一年が経とうとしています。この一年間は僕の人生にとって節目の年でもありました。皆さんにたくさんの祝福を頂きながら、無事結婚식을9月17日に挙げることもできました。

「人は宿命に生き、運命に出会い、使命を感じ、天命を全うす」と言いますが、僕は医師という人生の宿命に生き、様々な運命に出会い、今の自分があります。しかしまだ僕はその使命が何であるのか感じられずにいます。しかし使命などという大それた事は今の僕には分かるはずもありません。妻は助産師で、大阪生まれ大阪育ちです。そんな彼女は僕を信じ岡山と一緒に来てくれました。その妻の為にも邁進しなければなりません。

常在戦場の如く、日々の診療で真剣に且つ真摯に、悩み苦しむ患者さん達と向き合っていかなければなりません。また大学人である以上診療のみに留まることなく、研究にまた教育の場においても結果を出さなければなりません。面白くないなら面白く、楽しいならさらに楽しく、与えられたものだけに満足するだけでなく、自らの場所と環境を模索したいと思っています。過去の結果としての自分ではなく、未来の原因としての自分でありたいと心から願っています。ですから今年度は、前にも増して振り返ることなく前進したいと思っています。

今年うれしい、うれしい後輩ができます。初めての後輩です。共に悩みや喜びを共有し本当の意味でのよき臨床医・よき科学者を目指して、呼吸器内科を盛り上げていきましょう。